

大阪城

2022
11/24
(木)
14310
3

金
西成
2247
6647-
4947

大阪市にも5万円の支援金の話が始まった。
人による区によっても違うつきはあるのだろうが
住民税非課税世帯も対象に12月中旬には
5万円が口座に振り込まれると発表されている。
国の予備費が財源で、1600万世帯で、国
全体では約850の億円ぐらい。ふりこむための作業
や事務は仕事だけ300億円以上、業者とかに払う
とかいっている。財源の予備費はウイルスワウキヤ
ウイルス対策にも使われているサイトで、国会の検査
をすりぬけ資金なので、しんきくさいじめな活動だが
使った方や金の流れのよ、株、株は、小人数の人になって
もやっつく必要が、国家のためにも大切だろう。
しかし、みんなの日々の経済生活は物価がドンドン
全て値上りしていくので、厳しさが日々たつにつれ、深
刻になっている。新年になってもより激しく続き
らうぞ、うさぎ年とはいうが、気の重さ、新年になりそう
です。ウクライナ戦争も厳冬に入り、暖房、エネルギー、
食糧なども今、め、総力戦の姿になってきています。
地球上に、現物の重さ、重さをこつきつけており、その対極
のビットコインなど、仮想通貨やデジタル世界が行きづ
まり、大半業者が破産しました。投資家やチャンプラー、10万
人ほどが混乱しはじめています。そこだけ止まればいいの
ですが、不安と心配がにじみ出てきています。

岸田内閣“辞任ドミノ” 1か月で3人

岸田内閣は、世界平和統一家庭連合、いわゆる“統一教会”、「死刑のハンコ」発言、そして“政治とカネ”の問題で、1か月で3人の閣僚が辞任しました。

さらに、自民党幹部からは、“政治とカネの問題”が指摘されている秋葉復興相に“辞任ドミノ”が波及することを懸念する声が聞かれます。(日テレニュース)

「大臣の首が飛ぶ」って、本来大事な件なのですが、なんか一週間に一人のペースで「実質罷免」の辞任が相次ぎ、この流れでは更に連座する大臣もありそうで岸田首相まで波及するかも知れない事態となってきました。

内閣総辞職とか解散総選挙などとか言う話が出されもしていますが、なにせ衆参両院で与党2/3を維持しているのです、与党内からの反乱でもない、このままづるづるしまりの悪いままつづきそうです。

それでも国民生活に影響ある補正予算、来年度の本予算、年末・年明けまで厳しい綱渡りが続きそうです。

残り一月になった

センターの現金仕事

現金の日雇い求人、今でも相当少なくなってきました。いまの勢いでは下向傾向だともいいます。

通年12月は20日をこえると求人車もとだえてきて、年末年始の長い「アブレ」となります。どうやって「し」のいでいくか、それぞれ計画的に考えて対処していく必要があります。